

別紙

平成28年7月27日 議会報告会 片丘多目的研修センター

・買い物弱者対策について

地域振興バスは、民間の路線バスの撤退に伴い、平成13年から本格運行を始め、現在では市内全地区を網羅するよう10路線で運行しており、年間の運行費用約9千万円の中で、利用者は15万5千人前後となっております。

利用目的としては、買い物、通院、通勤・通学の順となっており、利用者の声を反映しながら定期的に運行コースや運行時間を改善しております。平成30年4月にダイヤ改正を予定しており、平成29年中に利用者アンケートを実施致しますので、御意見をいただければと思います。

また、「足腰の弱い高齢者は、地域振興バスのバス停まで歩いていくことが大変だ」と言うようなバス停まで歩いていけないなどの事情を抱えた市民の皆さんの声がありますが、そのような要望には、地域振興バスだけでは容易に応えられない状況にあります。

塩尻市では独自事業として、市民税非課税世帯の75歳以上で構成されている世帯などに対しまして、タクシー利用料金の一部を助成する制度を設けております。しかし、利用範囲は、通院又は社会福祉施設への通所に限っていること、利用券を他人に譲り渡してしまう方がいる、などの課題を抱えております。

これらの課題がある一方で、片丘の老人福祉センター百寿荘を運営する法人では、地域貢献の一環として、同センター利用と併せて、無料の買い物バスを運行していただいています。また、市社会福祉協議会やNPO法人による、有償運送サービスや、病院による通院の際の送迎などを実施いただいているところでもありますので、合わせてご利用いただければと思います。